

用症例登録ソフトウェアの利点としては、経時的に発生する登録項目の変更や地域がん登録などの他の登録様式への項目のマッピングが可能であり、これら全てのデータを一元的に管理できる点である。

3年目

院内がん登録システムなど、所謂、病院情報システムを構成する部門システムにおいて、基幹システムである電子カルテシステムに蓄積されたデータの活用が望まれている。データ連携を実現するためにSOA (Service Oriented Architecture) を実現するための機能の一つである、エンタプライズサービスバス (ESB) を利用した。日本で販売されている電子カルテシステムは、他の部門システムと連携する際に、ソケット通信、FTP通信、ファイル連携を行うのが一般的である。ESBには、これら通信をサポートする機能が実装されている。本研究では、電子カルテシステムの通信機能を解析し、ESBの適用法を設計した。実現例として、電子カルテシステムと各種検査システムとのESBを用いた連携を示した。

1年目

A. 研究目的

がん診療連携拠点病院および非がん診療拠点病院における院内がん登録及び臓器がん登録の実施状況を調査する。

B. 研究方法

がん診療連携拠点病院179施設、非がん診療拠点病院2800施設に対し、アンケート調査を実施した。調査項目については、別紙に示した通りである。

(倫理面への配慮)

本研究が、個別の患者情報を取り扱うことはないため、倫理上配慮すべき格段の問題点はないものとする。しかし、本研究全体について、その内容と方法論について、一般的な倫理面での疎漏のなきよう配慮を行った。

C. 研究結果

がん診療連携拠点病院89施設、非がん診療連携拠点病院468施設より回答を得た。

【アンケートの回答状況】

アンケートに回答したがん診療連携拠点病院及び非がん診療連携拠点病院の病床規模別分布は表1の通りである。

[表1] アンケートに回答した施設の病床規模別分布

病床規模	がん診療連携拠点病院 (施設数)	非がん診療連携拠点病院 (施設数)
100-200	0	150
201-300	4	99
301-400	12	102
401-500	15	41
501-600	19	29
601-700	16	20
701-800	9	8
801-900	7	3
901-1000	0	2
>1001	6	7

【がん診療】

非がん診療連携拠点病院において、がん診療、がん治療を行っている施設は、それぞれ395、386あり、表2に病床規模別の施設数を示した。

[表2] 非がん診療連携拠点病院におけるがん診療、がん治療の実施状況

病床規模	がん診療 (施設数)	がん治療 (施設数)
100-200	116	105
201-300	86	84
301-400	88	90
401-500	38	38
501-600	28	29
601-700	18	19
701-800	8	8
801-900	2	2
901-1000	2	2
>1001	7	7

非がん診療連携拠点病院におけるがん治療については、化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法、放射線療法、外科的治療、内科的治療の実施状況を調査し、表3に示す結果を得た。

[表3] 非がん診療連携拠点病院におけるがん治療の実施状況

病床規模	化学療法	免疫療法・BRM	内分泌療法	放射線療法	外科的治療・体腔鏡的治療	内視鏡的治療
100-200	99	24	34	6	100	79
201-300	82	22	43	11	76	73
301-400	88	30	47	37	78	77
401-500	34	17	21	23	33	32
501-600	29	13	21	25	27	27
601-700	17	12	10	15	16	15
701-800	8	8	7	6	8	8
801-900	2	2	1	2	2	2
901-1000	2	1	1	2	2	2
>1001	6	4	5	6	6	6

非がん診療連携拠点病院における緩和ケアの実施状況、緩和ケア病棟の設置状況について表4に示した。

[表4] 非がん診療連携拠点病院における緩和ケアの実施状況、緩和ケア病棟の設置状況

病床規模	緩和ケア実施施設	緩和ケア病棟設置施設
100-200	65	9
201-300	51	5
301-400	57	5
401-500	26	3
501-600	23	3
601-700	12	0
701-800	6	0
801-900	2	0
901-1000	1	0
>1001	5	0

【臓器がん登録】

がん診療連携拠点病院及び非がん診療連携拠点病院における臓器がん登録の実施状況は表5に示す通りである。尚、非がん診療連携拠点病院については、がん診療またはがん治療を実施している403施設からの回答を集計した。

[表5]臓器がん登録の実施状況

	がん診療連携拠点病院 (89施設)	非がん診療連携拠点病院 (403施設)
実施	24	52
未実施	8	174
各診療科担当のため不明	57	133
未回答	0	44

臓器がん登録を実施している施設における臓器がん登録の種類は表6に示した結果となった。

[表6]種類別の臓器がん登録の実施状況

	がん診療連携拠点病院 (89施設)	非がん診療連携拠点病院 (403施設)
頭頸部	3	4
甲状腺	7	2
食道	8	11
胃	12	18
大腸	11	20
家族性大腸腺腫症	5	5
肝臓	19	28
胆道系	7	8
膵臓	6	7
肺	14	10
骨	7	8
乳腺	18	19
婦人科	13	9
膀胱	8	12
脳腫瘍	9	11
造血器	7	8
小児腫瘍	6	7

【院内がん登録】

各施設における院内がん登録の実施状況は、表7に示したとおりである。また、登録開始年について表8に示した。さらに、がん登録の登録形式を表9に、登録対象癌腫を表10に、登録対象の詳細について表11に、予後調査の有無を表12に示した。

[表7]各施設における院内がん登録の実施状況

	がん診療連携拠点病院 (89施設)	非がん診療連携拠点病院 (403施設)
実施	80	101
未実施	3	297
未回答	6	5

[表8]院内がん登録実施施設における登録開始年

	がん診療連携拠点病院 (86施設)	非がん診療連携拠点病院 (101施設)
1960～1964	3	0
1965～1969	1	1
1970～1974	2	0
1975～1979	1	0
1980～1984	4	2
1985～1989	4	4
1990～1994	6	5
1995～1999	4	3
2000～2004	29	15
2005～2006	26	62
未回答	6	9

[表 9] 院内がん登録の登録形式

	がん診療連携拠点病院 (86施設)	非がん診療連携拠点病院 (101施設)
1腫瘍1登録	76	87
1入退院1登録	9	14
未回答	1	0

[表 10] 院内がん登録における登録対象癌腫

	がん診療連携拠点病院 (86施設)	非がん診療連携拠点病院 (101施設)
施設受診全癌腫 (外来・入院双方含)	37	46
入院全癌腫(入院のみ)	45	38
一部癌腫(外来・入院問わない)	0	9
一部診療科受診の癌腫	3	6
その他	1	2

[表 11] 院内がん登録における登録対象の詳細

	がん診療連携拠点病院 (86施設)	非がん診療連携拠点病院 (101施設)
良性腫瘍	21	17
他院にて既に診断されている患者	74	78
再発症例	31	41
治療のみで受診の患者	71	64

[表 12] 予後調査の実施の有無

	がん診療連携拠点病院 (86施設)	非がん診療連携拠点病院 (101施設)
実施	35	23
未実施	43	69
未回答	8	9

非がん診療連携拠点病院の内、がん診療またはがん治療を実施しているが院内がん登録を実施していない297施設において、院内がん登録の実施予定がある施設は52、予定が無い施設が62、未定の施設は170、未回答の施設は13であった。

これらの施設において、院内がん登録を実施していない理由を表13に集計した。

[表 13] 非がん診療連携拠点病院(がん診療またはがん治療実施施設)において院内がん登録を実施していない理由(297施設、複数回答あり)

	施設数
院内がん登録の存在を知らなかった	31
院内がん登録による利点が見出せない	18
病院内での意見調整ができていない	92
院内がん登録を実施するに十分な知識がない	61
院内がん登録を実施するに十分な人的資源(人員・組織構成)が確保できない	144
院内がん登録システムの予算(導入・保守)が確保できない	104
院内がん登録を実施するに十分な予算(システム以外)が確保できない	70

D. 考察

がん診療連携拠点病院及び非がん診療連携拠点病院での臓器がん登録、院内がん登録の現状をアンケート調査によって明らかにした。

アンケートに回答した非がん診療拠点病院の病床規模分布では、500床以下の中小規模病院が多く、本研究班での開発システムの配布先ターゲットを絞る上で有用な情報が得られたといえる。表2に示したように、非がん診療連携拠点病院においても多くの施設でがん診療またはがん治療を実施していることが明らかになった。

臓器がん登録の実施状況は、表5に示した通りであるが、実施状況は高いとはいえない一方で、非がん診療拠点病院においても施設数ではがん診療拠点病院に劣らず登録実施がなされていることが分かった。

院内がん登録については、がん診療拠点病院ではその要件にされている一方で、非がん診療連携拠点病院においても回答のあった施設の約25%に

おいて実施されていることが判明した。

がん診療またはがん治療を実施している非がん診療連携拠点病院において、院内がん登録を実施していない理由を集計したが、人的資源および予算の確保が困難であることが明らかになった。

E. 結論

がん診療連携拠点病院及び非がん診療拠点病院での臓器がん登録、院内がん登録の現状をアンケート調査によって明らかにした。院内がん登録に比較して臓器がん登録の実施状況は、高いとはいえないことが判明した。がん診療・治療を実施している非がん診療拠点病院において、人的資源、予算の確保が院内がん登録を実施する上で障害となっていることが分かった。

F. 健康危険情報

総括研究報告書に記入

G. 研究発表

1. 論文発表

Kojimahara N, Maeda A, Kase T, Yamaguchi N. Cross-reactivity of influenza A (H3N2) hemagglutination-inhibition antibodies induced by an inactivated influenza vaccine. *Vaccine* 24:5966-5969, 2006

Kabuto M, Nitta H, Yamamoto S, Yamaguchi N, Akiba S, Honda Y, Hagihara J, Isaka K, Saito T, Ojima T, Nakamura Y, Mizoue T, Ito S, Eboshida A, Yamazaki S, Sokejima S, Kurokawa Y, Kubo O. Childhood leukemia and magnetic fields in Japan: a case-control study of childhood leukemia and residential power-frequency magnetic fields in Japan. *Int J Cancer*. 119(3):643-50, 2006.

Takebayashi T, Akiba S, Kikuchi Y, Taki M, Wake K, Watanabe S, Yamaguchi N. Mobile phone use and acoustic neuroma risk in Japan. *Occupational and Environmental Medicine* 63:802-807, 2006.

山口直人. データベースの整備—基礎研究・臨床研究, がんの本質にせまる. *総合臨床*. 55:416-418, 2006.

福井由理子, 石原園子, 松井慶子, 佐藤康仁, 菅沼太陽, 鄭珠, 山口直人, 川上順子, 吉岡俊正. 少数回数のPBLテュートリアルでの体験が卒業時および卒業後の臨床能力へ及ぼした効果. *医学教育*. 37:277-283, 2006

山口直人. がん予防研究に関する最新情報とその活用. *公衆衛生*. 71: 22-26, 2007.

山口直人. (特集) がんの実態把握とがん情報の発信: Minds・診療ガイドライン. *癌の臨床*. 52:507-512, 2006.

2. 学会発表

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

2年目

A. 研究目的

本研究班において開発中のシステムの汎用性を検証するため、がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録

B. 研究方法

がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2006年度版 修正版)の登録項目とその定義に記載されている内容についてptreg上のフォーム作成機能を使用してフォームデザイン、各項目内容、データ型を設定した。これら設定に基づき、フォーム作成機能について検証し、データ入力時のユーザビリティについて検討した。

(倫理面への配慮)

本研究では、個別の患者情報を取り扱うことはないため、倫理上配慮すべき格段の問題点はないものと考えられる。しかし、本研究全体について、その内容と方法論について、一般的

様式(2006年度版 修正版)について登録項目とその定義に従い本症例登録システム(以下、ptreg)に登録フォームを実装した。

な倫理面での疎漏のなきよう配慮を行った。

C. 研究結果

がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2006年度版 修正版)の登録項目とその定義に記載されている内容についてptreg上にデータ入力用フォームを実装した。

【プロジェクトデザイン】

ptregのデータ構造は、[Project]→[Encounters(複数登録可)]→[Forms(複数登録可)]→[Variables(複数登録可)]となっている。これらに付随するデータとして、[Sites(複数登録可):登録参加施設]、[Arms:臨床試験時の群割付機能]、[Admins:ptregユーザーデータ]がある。[Sites]、

[Arms]については、デフォルト設定である、Primary Site、Default Armを用いた。[Amins]については、管理者

権限を有するAdminと一般ユーザー権限のUserを登録した。設定内容を図1に示した。

Project Design

Project: 院内がん登録

[Edit project details.](#)
[Add a new site.](#)
[Add a new arm.](#)
[Add a new encounter.](#)
[Add an administrator.](#)

PROJECT DETAILS

Name: 院内がん登録
Type: The arms of this project are not blinded to providers.

SITES

Name	Providers	Patients	Delete
Primary Site	0	10	

ARMS

Name	Target	Patients	Delete
Default Arm	(unlimited)	10	

ENCOUNTERS

Name	Arm	Forms	Delete
院内がん登録標準登録様式	(all)	8	

ADMINS

Name	Delete
Admin, Demo	
User, Demo	

図1:プロジェクトデザイン

【EncountersとForms】
データ入力時のフォーム散逸を防ぐため、Encounterの設定を1つ（院内がん登録標準登録様式）とし、がん診療

連携拠点病院院内がん登録標準登録様式（2006年度版 修正版）で定義されている項目分類（【基本情報】、【診断情報】、【腫瘍情報】、<実施検査>

【初回治療情報】、【予後情報】、【診療科情報】、【管理用項目・その他】） に対し、1つのFormを対応させた（図2）。

Patient Registry Providers Dictionary Logout

Encounter

Project: 院内がん登録
 Encounter: 院内がん登録標準登録様式
[Edit encounter details](#)
[Add a new form](#)

ENCOUNTER DETAILS

Name: 院内がん登録標準登録様式
 Arm: (all arms)
 Timing: Manually assign on day of event.

FORMS

Name	Variables	Delete
A 基本情報	11	
B 診断情報	20	
C 腫瘍情報	21	
D 実施検査	9	
E 初回治療情報	20	
F 予後情報	16	
G 診療科情報	5	
H 管理用項目・その他	4	

図2：EncountersとFormsの構成

【FormとVariables】
 各Form内における登録項目 (Variables) のデータ型には、[Text]、[TextArea]、[Number(Interger)]、[Number(Real)]、[Date]、[Radio Button]、[Checkbox]、[Drop-Down]が準備されている（図3）。これらのデータ型を用いて、がん診療連携拠点病

院院内がん登録標準登録様式（2006年度版 修正版）の各項目を設定した。また、2006年度版で設定されている項目区分である、「必須項目」について

は、ptregに実装されている [Required(No/Yes)]機能（図3）を用いて対応した。



図3：Variablesの各データ型と必須項目(Required)機能

【基本情報】
がん診療連携拠点病院院内がん登録
標準登録様式（2006年度版 修正版）

の【基本情報】で定義されている11
項目をptreg内のFormとして実装した。
各項目におけるデータ型と必須項目

(Required)への対応については、図4に示した通りである。項目番号50「性別」については、選択肢が少数であるため、Radio Buttonを用い、項目番号70「出生地コード」については、オプ

ション項目であることと選択肢が多数であることを考慮しDrop-Downとした(図6)。基本情報Formの入力画面を図5に示した。

The screenshot shows the 'Patient Registry' application interface. The top navigation bar includes 'Providers', 'Dictionary', and 'Logout'. The main content area is titled 'Form' and displays the following information:

- Project:** 院内がん登録
- Encounter:** 院内がん登録標準登録様式
- Form:** A 基本情報
- [Edit form details.](#)
- [Add a new variable.](#)
- [Preview form.](#)

Below this is the 'FORM DETAILS' section, which shows 'Name: A 基本情報'. The 'VARIABLES' section contains a table with the following data:

Unique ID	Type	Required	Delete
A10	Text	Yes	✖
A20	Text	--	✖
A30	Text	--	✖
A31	Text	--	✖
A32	Text	--	✖
A40	Text	Yes	✖
A41	Text	--	✖
A42	Text	--	✖
A50	Radio Button	Yes	✖
A60	Date	Yes	✖
A70	Drop-Down	--	✖

図4：【基本情報】項目のFormへの実装



図5：【基本情報】Formプレビュー画面

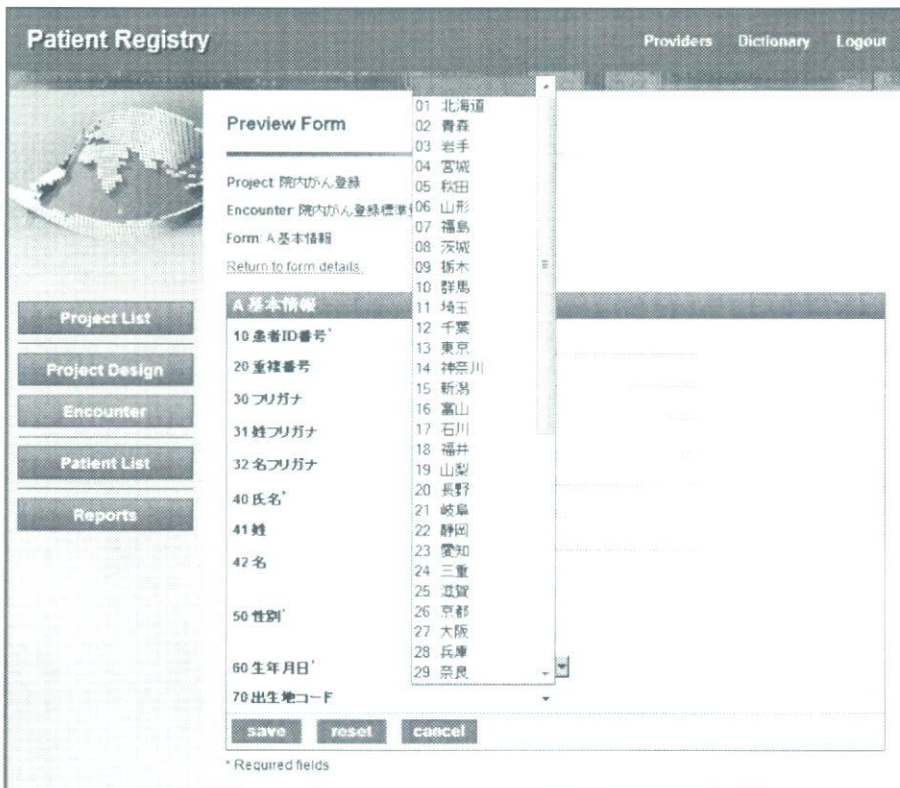


図6：出生地コードの実装

【診断情報】 (Required)への対応については、図7
 がん診療連携拠点病院院内がん登録 示した通りである。項目番号150～
 標準登録様式（2006年度版 修正版） 190については、選択肢内の記述が長
 の【診断情報】で定義されている20 いためRadio Buttonを用いた。診断情
 項目をptreg内のFormとして実装した。 報Formの入力画面は図8・9に示した
 各項目におけるデータ型と必須項目 通りである。

The screenshot shows the 'Patient Registry' interface. On the left is a navigation menu with buttons for 'Project List', 'Project Design', 'Encounter', 'Patient List', and 'Reports'. The main content area is titled 'Form' and displays the following information:

- Project:** 院内がん登録
- Encounter:** 院内がん登録標準登録様式
- Form:** B 診断情報
- Links: [Edit form details.](#), [Add a new variable.](#), [Preview form.](#)

Below this is a 'FORM DETAILS' section with 'Name: B 診断情報'. The 'VARIABLES' section contains a table with the following data:

Unique ID	Type	Required	Delete
B80	Text	--	🗑️
B90	Drop-Down	--	🗑️
B100	Text	--	🗑️
B101	Text	Yes	🗑️
B110	Date	--	🗑️
B120	Date	--	🗑️
B130	Date	--	🗑️
B140	Date	--	🗑️
B141	Date	Yes	🗑️
B150	Radio Button	--	🗑️
B151	Radio Button	--	🗑️
B152	Radio Button	--	🗑️
B153	Radio Button	Yes	🗑️
B160	Radio Button	--	🗑️
B161	Radio Button	--	🗑️
B170	Radio Button	--	🗑️
B180	Radio Button	--	🗑️
B181	Radio Button	--	🗑️
B182	Radio Button	Yes	🗑️
B190	Radio Button	--	🗑️

図7：【診断情報】項目のFormへの実装

Patient Registry Providers Dictionary Logout



- Project List
- Project Design
- Encounter
- Patient List
- Reports

Preview Form

Project: 院内がん登録
 Encounter: 院内がん登録標準登録様式
 Form: B 診断情報
[Return to form details.](#)

B 診断情報

80 診断時郵便番号

90 診断時都道府県コード

100 診断時住所(詳細)

101 診断時住所(市区町村)*

110 当該腫瘍初診日

120 診断日0(発端日)
がんが最初に疑われた日

130 診断日1(他施設診断日)
診断根拠に基づく前医での診断日(ある場合)

140 診断日2(自施設診断日)
診断根拠に基づく自施設での診断日

141 診断日*
治療前の診断根拠に基づく診断日

- 0自主
- 1他院より(紹介)
- 2がん検診(紹介)
- 3健康診断(紹介)
- 4人間ドック(紹介)
- 5当該施設にて他疾患の経過観察中
- 6剖検にて
- 8その他
- 9不明

150 未院経路

- 1自覚症状あり
- 2自覚症状なし
- 9不明

151 発見前自覚症状
自覚症状の有無

- 1がん検診
- 2健康診断・人間ドック
- 3他疾患の経過観察中(入院時ルーチン検査を含む)
- 4剖検発見
- 9その他・不明

152 発見経緯

図 8 : 【診断情報】 Formプレビュー画面 (項目番号80~152)

	<p>153 来院・発見の経緯*</p> <p>160 診断区分(診断結果) 診断結果(地域がん登録)</p> <p>161 診断施設</p> <p>170 治療方針 診断時指示</p> <p>180 症例区分</p> <p>181 受診目的 セカンドオピニオン</p> <p>182 診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別 診断・治療区分</p> <p>190 告知状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 0自主 <input type="radio"/> 1他の施設からの紹介 <input type="radio"/> 2検診・がん検診・人間ドック <input type="radio"/> 5当該施設にて他疾患の経過観察中 <input type="radio"/> 8その他 <input type="radio"/> 9不明 <input type="radio"/> 1初発(治療開始前) <input type="radio"/> 2治療開始後 <input type="radio"/> 3疑診 <input type="radio"/> 1自施設診断 <input type="radio"/> 2他施設診断 <input type="radio"/> 1自施設で治療 <input type="radio"/> 3自施設で経過観察 <input type="radio"/> 4他施設へ紹介 <input type="radio"/> 8来院中断 <input type="radio"/> 9不明 <input type="radio"/> 1診断のみの症例 <input type="radio"/> 2診断ならしめ初回治療に関する決定・施行がなされた症例 <input type="radio"/> 3他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例 <input type="radio"/> 4新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例 <input type="radio"/> 5剖検による診断の症例 <input type="radio"/> 6登録開始日以前の症例 <input type="radio"/> 8その他 <input type="radio"/> 1診断・診療目的の受診 <input type="radio"/> 2セカンドオピニオン目的 <input type="radio"/> 9その他・不明 <input type="radio"/> 1 自施設診断かつ自施設初回治療・経過観察 <input type="radio"/> 2 他施設診断かつ自施設初回治療・経過観察 <input type="radio"/> 3 自施設診断かつ他施設初回治療・経過観察 <input type="radio"/> 4 他施設診断かつ他施設初回治療・経過観察(治療開始後に自施設に紹介) <input type="radio"/> 8 その他 <input type="radio"/> 9 不明 <input type="radio"/> 10 進行度や生命予後についての見込みなどを含めた告知(11、12に重分類できないもの) <input type="radio"/> 11 生命予後まで含めてすべてを説明 <input type="radio"/> 12 病状や進行度までを説明 <input type="radio"/> 20 病名告知のみ <input type="radio"/> 30 悪性以外の告知 <input type="radio"/> 40 精神的・身体的理由で告知できず <input type="radio"/> 80 前医での告知済 <input type="radio"/> 99 告知の内容不詳
--	---	---

図9：【診断情報】Formプレビュー画面（項目番号153～190）

【腫瘍情報】
がん診療連携拠点病院院内がん登録
標準登録様式（2006年度版 修正版）
の【腫瘍情報】で定義されている項目
をptreg内のFormとして実装した。各
項目におけるデータ型と必須項目

(Required)への対応については、図1
0に示した通りである。腫瘍情報にお
ける多くの項目は、必須情報ではなく、
且つ、フォーム内に含まれる項目数が
多いため、フォームの表現を簡素化す
るためDrop-Downを多用した。腫瘍情

報Formの入力画面は図 1 1 に示した 通りである。

Patient Registry Providers Dictionary Logout

Form

Project: 院内がん登録
 Encounter: 院内がん登録標準登録様式
 Form: C 腫瘍情報
[Edit form details.](#)
[Add a new variable.](#)
[Preview form.](#)

FORM DETAILS

Name: C 腫瘍情報

VARIABLES

Unique ID	Type	Required	Delete
C200	Text	Yes	🗑️
C210	Text	Yes	🗑️
C220	Drop-Down	--	🗑️
C230	Drop-Down	--	🗑️
C231	Drop-Down	--	🗑️
C232	Drop-Down	--	🗑️
C240	Drop-Down	--	🗑️
C250	Drop-Down	--	🗑️
C260	Drop-Down	--	🗑️
C270	Drop-Down	--	🗑️
C280	Drop-Down	--	🗑️
C290	Drop-Down	--	🗑️
C300	Drop-Down	--	🗑️
C310	Drop-Down	--	🗑️
C320	Drop-Down	--	🗑️
C325	Drop-Down	--	🗑️
C330	Text	Yes	🗑️
C340	Text	Yes	🗑️
C350	Drop-Down	--	🗑️
C351	Drop-Down	--	🗑️
C352	Radio Button	Yes	🗑️

図 1 0 : 【腫瘍情報】 項目のFormへの実装

Project List

Project Design

Encounter

Patient List

Reports

C 腫瘍情報

200 診断名コード*
部位コード、局在コード

210 診断名テキスト

部位名補足

220 部位の側性

230 ステージ(治療前・UICC)

231 治療前のステージ(主要5部位)

232 ステージ(治療前・取捨規約)

240 TNM分類(UICC)T分類

250 TNM分類(UICC)N分類

260 TNM分類(UICC)M分類

270 ステージ(術後病理学的診断・UICC)

280 pTNM分類(UICC)pT分類

290 pTNM分類(UICC)pN分類

300 pTNM分類(UICC)pM分類

310 進展度(治療前)
臨床進行度(治療前)

320 進展度(術後病理学的)
臨床進行度(術後病理学的)

325 壁深達度

330 組織診断名コード*
組織コード

340 組織診断名テキスト*
組織診断名補足

350 診断根拠

351 病理組織標本由来

352 診断に寄与した検査*

- 1 組織診陽性
- 2 細胞診陽性(組織診ではがんの診断無し)
- 3 病理学的検査による診断(組織診、細胞診の区別が不明な場合)
- 4 病理学的検査以外の検体検査による診断(腫瘍マーカー検査を含む)
- 5 がん病巣直視下の肉眼所見による診断(病理学的検査による診断なし)
- 6 放射線画像診断(病理学的検査による診断なし)
- 9 不明 もしくは、病理学的検査による診断の不明

* Required fields

図 1 1 : 【腫瘍情報】 Formプレビュー画面

<実施検査>

がん診療連携拠点病院院内がん登録
標準登録様式 (2006年度版 修正版)

の<実施検査>で定義されている項目

をptreg内のFormとして実装した。各
項目におけるデータ型と必須項目

(Required)への対応については、図1 2に示した通りである。各項目における選択肢は通常3つであり、内容もほぼ同一のためRadio Buttonを用いて実装した。実施検査Formの入力画面は図1 3に示した通りである。

The screenshot shows the 'Patient Registry' interface. On the left is a navigation menu with buttons for 'Project List', 'Project Design', 'Encounter', 'Patient List', and 'Reports'. The main content area is titled 'Form' and displays the following information:

- Project:** 院内がん登録
- Encounter:** 院内がん登録標準登録様式
- Form:** D 実施検査
- Links: [Edit form details.](#), [Add a new variable.](#), [Preview form.](#)

Below this is a 'FORM DETAILS' section showing the form name: 'Name: D 実施検査'.

The 'VARIABLES' section contains a table with the following data:

Unique ID	Type	Required	Delete
D360	Radio Button	--	
D370	Radio Button	--	
D380	Radio Button	--	
D390	Radio Button	--	
D400	Radio Button	--	
D410	Radio Button	--	
D420	Radio Button	--	
D430	Radio Button	--	
D440	Text	--	

図 1 2：〈実施検査〉項目のFormへの実装

Patient Registry Providers Dictionary Logout

Preview Form

Project 院内がん登録
 Encounter 院内がん登録標準登録様式
 Form D 実施検査
[Return to form details.](#)

D 実施検査

360 X線検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
370 内視鏡検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
380 超音波検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
390 腫瘍マーカー検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
400 CT/MRI検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
410 RI検査	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
420 細胞診	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
430 組織診	<input type="radio"/> 1 有
	<input type="radio"/> 2 無
	<input type="radio"/> 9 不明
440 腫瘍情報自由記載欄	

save reset cancel

図 1 3 : <実施検査> Formプレビュー画面

【初回治療情報】
 がん診療連携拠点病院院内がん登録
 標準登録様式（2006年度版 修正版）
 の【初回治療情報】で定義されている
 項目をptreg内のFormとして実装した。
 各項目におけるデータ型と必須項目
 (Required)への対応については、図 1

4 に示した通りである。治療の有無を
 問う項目に必須項目が含まれ、また、
 各項目における選択肢は通常3つで
 あり、内容もほぼ同一のためRadio
 Buttonを用いて実装した。初回治療情
 報Formの入力画面は図 1 5 に示した
 通りである。